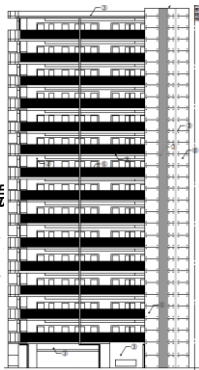
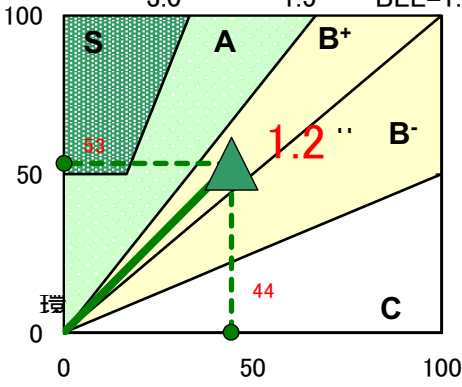
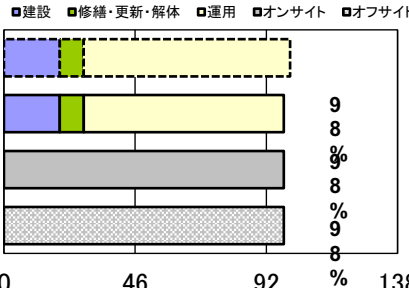
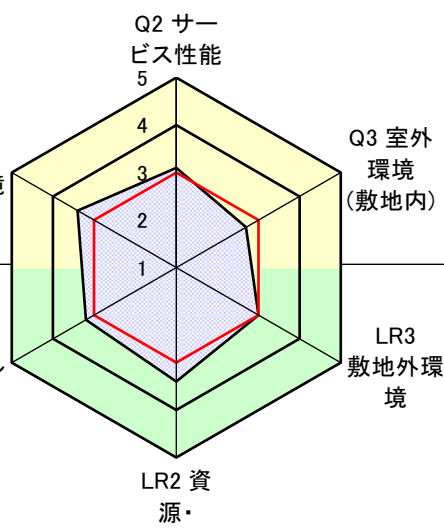


評価結果

1-1 建物概要				1-2 外観
建物名称	(仮称)サムティ名古屋市瑞穂区大喜新町1丁目 新築工事	階数	地上15F	 外観図を シー てください
建設地	名古屋市瑞穂区大喜新町一丁目4番、4番2、4番6、4番9、4番10	構造	RC造	
用途地域	絶対高45m高度地区、緑化地域	平均居住人員	200 人	
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)	
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2023年1月 予定	評価の実施日	2021年6月9日	
敷地面積	606 m ²	作成者		
建築面積	225 m ²	確認日	2021年6月11日	
延床面積	2,419 m ²	確認者		

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
= BEE 1.2 ★:S:★★★★★ A:★★★★ B+:★★★ B-:★★ C:★ 	標準計算  このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです	

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア= 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア=3.4

環境要素	スコア
音環境	3.3
温熱環境	3.0
光・視環境	3.6
空気質環境	3.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア=3.1

環境要素	スコア
機能性	3.5
耐用性	2.8
対応性	3.0

Q3 室外環境（敷地内）

Q3のスコア= 2.7

環境要素	スコア
生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性・	3.0

LR 環境負荷低減性

LR のスコア= 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア=3.2

環境要素	スコア
建物外皮の	3.0
自然エネ	3.0
設備システ	3.4
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.4

環境要素	スコア
水資	3.4
非再生材料の	3.4
汚染物質	3.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア=3.0

環境要素	スコア
地球温暖化への配慮	3.0
地域環境への配慮	3.0
周辺環境への配慮	3.0

3 設計上の配慮事項		
総合 エコジョーズ給湯器、節湯器具、節水型トイレ、品確法の取得を積極的に採用し、省エネルギー環境に配慮した。		その他
Q1 室内環境 節水型トイレ、エコジョーズ、節湯器具を採用。	Q2 サービス性能 耐用年数が高い材料を使用している。	Q3 室外環境(敷地内) 緑化率10%以上を確保し、自然との調和を図った。
LR1 エネルギー 断熱性能の高い材料を使用している。	LR2 資源・マテリアル ハロン消火剤を使用せず、地球温暖化に配慮している。	LR3 敷地外環境 屋上広告を一切なくし、公害対策に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい

重点項目スコア・結果シート

(仮称)サムティ名古屋市瑞穂区大喜新町1丁目 新築工事

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル2

■評価ソフト:

CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

重点項目		評価	全体に対する 重み係数	重点項目 スコア
1. 温暖化対策				3.1
LR1	エネルギー	3.2	0.4	
LR3.1	地球温暖化への配慮	3.0	0.1	
LR3.2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.05	
2. 自然共生				2.3
Q3.1	生物環境の保全と創出	2.0	0.09	
Q3.3.1	地域性への配慮、快適性の向上	無	0.009	
Q3.2	まちなみ・景観への配慮			
Q3.3.2	敷地内温熱環境の向上	3.0	0.045	
3. 循環型社会				3.4
LR2.1	水資源保護	3.4	0.06	
LR2.2	非再生性資源の使用量削減	3.4	0.18	
LR3.2.3	地域インフラへの負荷抑制 ※2	3.0	0.01875	

結果

1. 温暖化対策

評価点 = 3.1



2. 自然共生

評価点 = 2.3



3. 循環型社会

評価点 = 3.4



重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1 2) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。